

年間予報

★小売業界の局面が激変 → 積極的にリスクを取る「挑戦」が話題に！

- 1. デジタルやAIなどのシステム進化による無人化店舗・キャッシュレス店舗の拡大**
リスクを恐れ敬遠してきた業態もついに本格的に実現へ。
インパクトのある1号店は異業種による可能性も高いか？！
- 2. 業界内M&A加速 確実な利益確保というよりも不安要素を排除の様相**
ディベロッパーによる直営事業の拡大、買収が進む見込み。
一方で、イクスピアリ飲食部門をクリエイティブ・レストランへ売却、伊勢丹によるクイーンズ伊勢丹の売却も。
- 3. Amazon エフェクト**
「サザエさん」後継スポンサーにAmazon Japanが決定。モノが即座に届くシーンで泣ける仕立てのCM。
番組内でも三河屋さんがAmazon Boxの配達で登場する可能性大。
- 4. イベントやPOP UPが話題に リアル店舗はプロモーション戦略としての活用**
TVCMなどの販売効果が低くなる一方で、POP UP等への生活者の反応は高くなっている。
リアルストアに求められる役割は大きく様変わりする。
- 5. 海外進出急速拡大**
イオングループの中国ビジネス収益化、ファストリの海外収益が国内収益を逆転等 ハッピーニュースが相次いだ。2018は、ディベロッパーの進出も加速。

開業 TOPICS

- 1. 東京ミッドタウン日比谷 (3月29日)**
日比谷の新しいランドマークとなる開発。日比谷公園という公共空間を取り込んだランドスケープ。
商業空間は店舗面積約18,000㎡(B1F-7F)に、個性あふれる計60店舗のラインナップ。
- 2. 日本橋高島屋SC(新館) (9月)**
SCとして4館体制66,000㎡へ。「新館」のコンセプトは、「日本橋生活者」のための場の提供。
本館と新館の間のできるギャラリー通路は今後街歩きを中心となりうるか。
- 3. ジ・アウトレット広島 (春)**
テーマは、本格アウトレット × エンターテインメント × 地域との出会い。
総賃貸面積約53,000㎡、専門店数約200店舗。
- 4. マークイズ福岡ももち (秋)**
三菱地所が展開する「MARK IS」ブランドの九州初進出案件。
賃貸面積約48,000㎡、店舗数約150～200店舗。

注目案件

- ① 渋谷 ホテルコエ (2月9日)
- ② FOOD & TIME ISETAN YOKOHAMA (3月)
- ③ アマゾン撮影スタジオ 品川 (春)

今年は、新しいスタイルのホテル、動画撮影スタジオなど商業以外のコンテンツに話題が集まる可能性大。商業とのミックスにも注目したい。

ShopDesignの芽

『Event & Pop Up ≧ Sale』
集客 売り

年間予報でもあるように、商業施設におけるイベントやPOP UPがさらに重要視されるようになる。期間限定の空間であってもこれまで以上にデザインが重要視されるようになる模様。
なかでも企業ブランドが発信するPR空間づくりに注目したい。

集英社「週プレ酒場」

<https://shupure-sakaba.jp/>

新宿歌舞伎町にオープンした、男性向け週刊誌「週刊プレイボーイ」プロデュースの飲食店。創刊50周年の特別企画、1年限定営業。
VIP席は5席、チャージ1万円/1時間。
本誌との密接な連動企画が話題に。



週プレ酒場



ピキニちゃん



アパレル

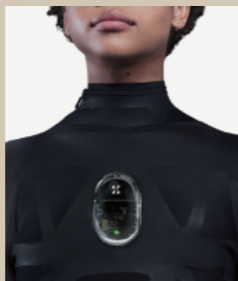
国内では、企業やブランド再編引き続き。セレクトは海外への足掛かりを構築する様相。飲食からホテル、広告やコンサルなど様々な異分野への進出も続く可能性大。

<トレンドキーワード>

① ZOZOSUIT

身体の寸法が瞬時に計測できる採寸用ボディースーツ

② スポーツミックス



出典：株式会社スタートトゥデイ

雑貨・食品

飽和状態も懸念され出したものの食品への偏重的依存型テナントミックスが継続する模様。大手アパレル企業によるキッチン雑貨ブランドのM&A話等、今年も話題は雑貨と食品に集中か。

<キーアイテム>

① 屋台やキッチンカー

② ヘルシーな

アジアフードアイテム



飲食

異業種とのコラボやAI系技術連携、地域店と都心運営企業との連携が進む模様。深刻な人手不足対策として効果的ではあるが、寡占化や格差広がるという懸念もあり？

株式会社ツナグ・ソリューションズは、売り場の採用コンサルティング業として注目が集まっている。



TSUNAGU SOLUTIONS Inc.

自由気ままな《旅立ちかえる》を育てるゲームが中国で大人気！

経済急成長の競争環境で育った中国の若い世代は、「常に他の人と戦わない」とも手に入らない！頑張れば、明日はもっとよくなる！という考え方によって日々ストレスがたまっている。日本発の癒し系『旅かえる』は、旅立った主人公のかえるをひたすら待つというスマホゲーム。2018年になって急激に中国で大ヒット！中国の若い世代は物事を必要以上に気にしないかえるに癒されている。たまにはのんびり時間で気分転換を必要としているだろう！

雨軒's Discovery Channel



株式会社ヒットポイントの『旅かえる』アプリアイコン